	2020年度 和	斗目別	授業計	画(シラ	ラバス)		
科目名	日本化粧品学 I	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	1セメスター
コース	メイクコース	授業	講義	単位	1	曜日∙時限	水曜
		形態	H17.2~	時間			3限
教員			宮川糸	屯子			

【到達目標】 間違えがちな化粧品や美容に関することを学び今日からすぐに実践できる知識を習得し、皮膚の構造や働きをしっかり理解する。

【授業の学習内容】

間違いがちな美容知識をチェックし皮膚、肌について正しく理解する

【教員実務経験】

美容部員、インストラクターとして30年余年美容業界に従事する。

	日程	授業形態	授業計画•内容	小テスト・定期試験				
1	1回目	講義	オリエンテーション(授業内容・目的の確認)					
2	2回目	講義	クレンジングの基本、洗顔の基本を理解する					
3	3回目	講義	化粧水、乳液、洗顔の基本を理解する	小テスト5点				
4	4回目	講義	スキンケアに関する疑問を解決する					
5	5回目	講義	メイクアップの基礎知識を理解する	小テスト5点				
6	6回目	講義	ボディケア、ヘアケアの基礎知識を理解する					
7	7回目	講義	中間試験	中間試験20点				
8	8回目	講義	皮膚の構造を理解する					
9	9回目	講義	皮膚のしくみを理解する	小テスト5点				
10	10回目	講義	表皮の構造としくみを理解する I					
11	11回目	講義	表皮の構造としくみを理解するⅡ	小テスト5点				
12	12回目	講義	真皮のしくみを理解する					
13	13回目	講義	皮膚のしくみを理解する付属器官、機能を理解する					
14	14回目	講義	期末試験	期末試験50点				
15	15回目	講義	期末試験フィードバック・成績評価	小テスト10点				
準備学習 準 備:次回、項目の予習 時間外学習:授業のノート整理、項目の復習、過去問題の練習								
評	●習熟度 : 100点(到達目標に対する成長具合や習熟度) ◇出 席: T5・実践・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる) ◇合 否: 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0) 、 実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価							
	溝生への ッセージ 自分の美容知識を正しくチェックし自分がきれいになるために皮膚、肌について正しく理解しましょう							
【使	【使用教科書・教材・参考書】 □							

【使用教科書・教材・参考書】口

日本化粧品検定2級・3級対策テキスト、日本化粧品検定2級、3級問題集